

太田 剣 sax ハクエイ・キム piano

2019 **07月20日(土)**

開場 19:30
開演 20:00~

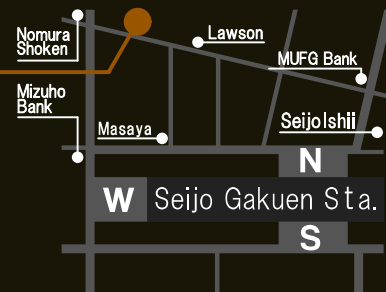
(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



太田 剣

1970年6月15日生まれ 愛知県渥美郡(現・田原市)出身。小学校でトランペット、中学校でテナーサクソ、高校でアルトサクソを手にし、雲井雅人氏にクラシック奏法のレッスンを受ける。早稲田大学でロシア文学を学ぶ傍ら、ジャズ奏法を池田篤氏に師事。渡米してケニー・ギャレット、ピンセント・ハーリングにも師事する。大学卒業後、国内ジャズ・シーンで頭角を現し、大坂昌彦(ds)カルテットのメンバーとして活躍。その後、TOKU(vo.flh)、小沼ようすけ(g)、Tommy Campbell(ds)、小林陽一(ds)らのバンドにも参加。2006年にCD"Swingroove(スウィングルーヴ)"でユニバーサル・ミュージックよりメジャーデビュー。Jazzの名門『Verv(ヴァーヴ)』レーベルからCDをリリースしたサクソ奏者としては、渡辺貞夫に続いて日本人2人目となる。同年、日豪交流年に際し、日本人とオーストラリア人のジャズミュージシャンで結成された日豪混合バンド『Japan-Australia Jazz Orchestra(JAJO)』に招聘され、日本&オーストラリア両国のツアーに参加。シドニーのオペラハウスでの演奏も好評を博す。Jazz Vocalist安富祖貴子のCDプロデュースや、矢沢永吉、平賀マリカなどシンガーのライブサポートなど、ジャンルを問わず幅広く活動している。

ハクエイ・キム

韓国人の父と日韓ハーフの母のもと、京都市に生まれる。5歳の頃からピアノを始める。高校在学中にエマーソン・レイク・アンド・パーマーなどに影響を受けロック・バンドを始め、94年YAMAHA主催「ティーンズミュージックフェスティバル札幌」において、「ベストキーボーディスト」を受賞。高校卒業後、オーストラリアへ渡り、シドニー大学音楽院(Sydney Conservatorium of Music, the University of Sydney)に入学。在学中はECMレーベル等に作品を発表しているオーストラリアを代表する名ピアニスト マイク・ノックに4年間師事し、氏の音楽観に多大な影響を受ける。2005年、11年に渡る滞在後帰国。同年5月にDIWよりデビュー・アルバム『Open the Green Door』を発表し、国内のみならず、フランスのジャズ誌『JAZZMAN』で4つ星の高評価を受ける。2009年にピアノ・トリオ Trisonique (トライソニック)を杉本智和(b)、大槻"KALTA"英宣(ds)と共に結成。2010年8月には、渡辺貞夫のツアー・グループに抜擢される。2011年1月、『トライソニック』でメジャー・デビューを果たす。タイトル曲はテレビ東京系列全国ネット『美の巨人たち』のエンディング曲に採用された。2011年12月、自身初となるソロ・ピアノ・アルバム『ブレイク・ジュ・アイス』を日本と韓国でリリース。2012年2月にはDVD『ソロ・コンサート』をリリースした。2013年7月10日にトライソニックとして初めてエレクトリック・サウンドを採用した最新作『ボーダレス・アワー』を発表する。